

- 2031 Robert Anson Heinlein 『獣の数字』 矢野徹訳 (早川書房, 1984年, 海外SFノヴェルズ)

原題: The Number of Beast. なお, 以下の引用中の前提条件とその結論に対応する Symbolic Logic, Part I, Bk. VIII, Ch. I, §9, no.47. の記述は,

- (1) Every idea of mine, that cannot be expressed as a Syllogism, is really ridiculous ;
- (2) None of my ideas about Bath-buns are worth writing down ;
- (3) No idea of mine, that fails to come true, can be expressed as a Syllogism ;
- (4) I never have any really ridiculous idea, that I do not at once refer to my solicitor ;
- (5) My dreams are all about Bath-buns ;
- (6) I never refer any idea of mine to my solicitor, unless it is worth writing down.

Answer: All my dreams come true.

ドジスはかれのパッドから一枚をちぎった。

「これは第一人称で解かれるべきもので、その結論はあなたにあてはまります」「いいですわ、やってみましょう」

ディーティーは声に出して読んだ。

- 一 わたしのすべてのアイデアで、三段論法で表わせないものは、本当に途方もないものだ。
- 二 味付パンについてのわたしのアイデアで書きとめておくだけの値打があるものはない。
- 三 実現することにしるわたしのアイデアで、三段論法で表現できるものはない。
- 四 すぐに自分の弁護士には照会しないような本当に途方もないアイデアができることは一度もない。
- 五 わたしの夢はみな、味付パンについてのものだ。
- 六 書きとめる値打がないのなら、わたしはどんなアイデアだろうと弁護士に照会したりしない。

ディーティーはくすくす笑った。

「なんてあなたは優しいんでしょう！ それ本当よ：あたしの夢はみな本当になるの！」

p. 470

- 2032 Robert Anson Heinlein 『ウロボロス・サークル』 矢野徹訳 (早川書房, 1988年, 海外SFノヴェルズ)

原題: The Cat Who Walks Through Walls.

後ろにだけ働くというのは、哀れな種類の記憶だ。

——チャールズ・ラトウィッジ・ドジスン
(一八三二～一八九八)

p. 368